

葉色が褪色した「コシヒカリ」の 夏季冷温条件下における追肥効果 (会津平坦地域対象)

福島県農業試験場会津地域研究支場
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－施肥法
分類コード 01－01－13000000

2 担当者

新田靖晃・齋藤弘文

3 要旨

平成15年の会津平坦地域の標準的な栽培の「コシヒカリ」は、6月下旬以降に葉色が著しく褪色した。このため、追肥により葉色の低下を抑え品質の維持、向上を図った。

- (1) 褪色の要因は、旺盛な初期生育により土壤中窒素の吸収が早まったためと考えられた。
- (2) 「つなぎ肥(最高分けつ期～分けつ終期)＋穂肥(減数分裂期)」により、葉色は平年並まで回復した。また、「穂肥2回追肥(減数分裂期＋穂ばらみ期直前)」により、登熟期間の葉色は標準栽培をやや上回った。
- (3) 「つなぎ肥＋穂肥」により籾数が増加し、登熟歩合は低下したが、未熟粒率は標準栽培並～やや低い程度で、品質が確保され収量も高まった。また、「穂肥2回追肥」は収量が確保され、登熟が向上し品質も向上した。
- (4) 会津平坦地域では障害不稔発生の恐れが少なく、夏季冷温条件下でも追肥の効果があつた。

4 その他の資料等

なし